

ESPACE SOLO® ULTIMATE

エスパース・ソロ アルティメイト

ESPACE DUO ULTIMATE

エスパース・デュオ アルティメイト

## 取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください



- ご不明な点は販売店、または弊社までお問い合わせください。
- この取扱説明書は仕様改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社ヘリテージ 〒399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高2827-18  
☎ 0263(82)0141 WEB SITE : <http://heritage.co.jp>



**ESPACE®**

# 各部名称と説明



## A 本体テントパネル

テント室内のムレ(結露)を防ぎ換気を図るため、通気性に優れた生地を使用しています。防水性はありませんので、降雨時には必ずレインフライを併用してください。

## B ファスナー式入口(クイックエントランス)

大きくフルオープンする入口は開閉、出入りがスムーズです。ファスナー開閉により全面をメッシュにできるので換気も良好、蒸し暑い日も快適です。

## C 張り綱

テントを固定し、耐風性、居住性を高める重要なパーツです。ポールの延長線上でコーナーより約70cmの位置にベグなどで固定してください。

## D プラスチック3つ穴自在

テントをしっかり固定する際、張り綱を強く張るためのものです。また撤去の際は、自在を調節すれば簡単にゆるみます。

## E ユナイテッド・ポールスリーブ(アジャスター)(ポールソケット)

片側が袋とじになっているので、一方からポールを差し込み、ポールソケットに固定するだけで簡単、スピーディーに設営が完了。アジャスター付きなので設営後にテントの張り具合を調整できます。

## F ベンチレーター

### ベンチレーションウインドウ

レインフライ上部のベンチレーターは入口と連動しているので、フライシート入口を閉じていても効果的な換気が可能です。後面パネルのベンチレーターウインドウはメッシュ付き

ファスナー開閉式なので、ちょっとした荷物の出し入れができます。

## G グランドシート

パネル面までグランドシートが立ち上がり(バスタブ式)、雨水の跳ね上がりがテントパネルに付着するのを防ぎます。防水地(耐水圧2,000mm/cm<sup>2</sup>以上)を使用していますが、地面に接しさらに人の体重が加わるために水がしみることがあります。防水、保温のためにテントマットを必ず使用してください。

## H テントポール

テントの生命部分ともいえるパーツです。メンテナンスをしっかり行い、山行に合わせて予備パーツなどを携行してください。

## I 入口留め具

入口やメッシュを束ねるためのトグルです。

## J レインフライ

雨や夜露などを防ぐ防水アウトターシートです。防水地(耐水圧2,000mm/cm<sup>2</sup>以上)で本体を守ります。

## K ベグループ

このループにベグを通し、地面に打ち込んでレインフライを均一に張りながら固定します。

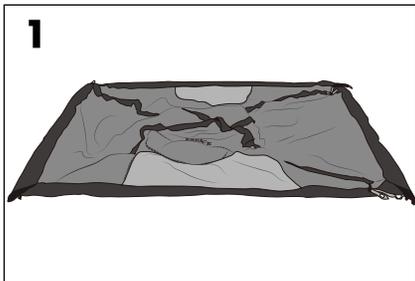
## L ベグ

地面にショックコード、張り綱などを固定するアルミ合金製の杭です。

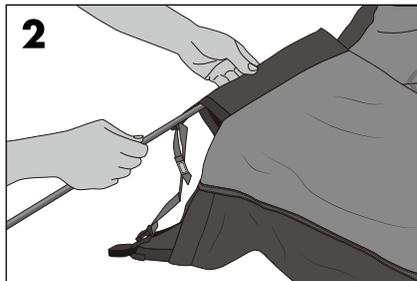
## M フライ接続用バックル

レインフライをワンタッチでスピーディーに本体と接続することが可能です。

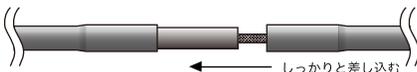
# 設営方法



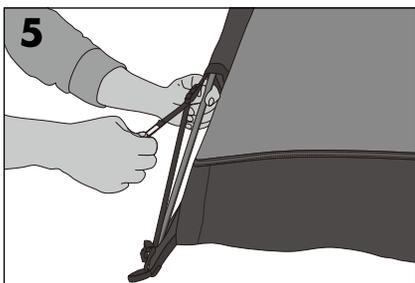
テント本体を広げます。入口は風がない時には半分程開けた状態で、風がある時にはテント室内に風が吹き込まない程度にほんの少しだけ開けます。基本としては入口を風下側に向けます。強風時にはペグでコーナー部分を仮止めなどして、飛ばされないように十分注意してください。



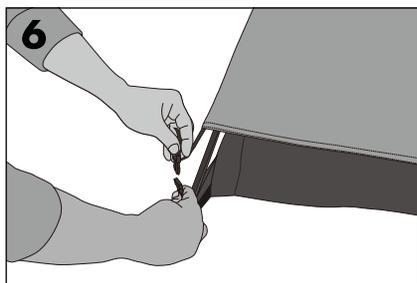
ボールを組み合わせ、グレーのアジャスターテープのあるコーナーからボールスリーブに差し込みます。



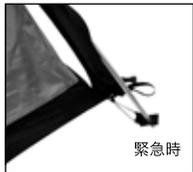
ボールを組み合わせる時には、各接合部(ジョイント)を完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、折損の原因となります。



片側のボールをセットし終えたら、同じ手順で残りのボールをセットします。そしてアジャスターテープを引いてテントの張りを調整します。**アジャスターは引き過ぎると生地に過度なストレスがかかりますので注意してください。**

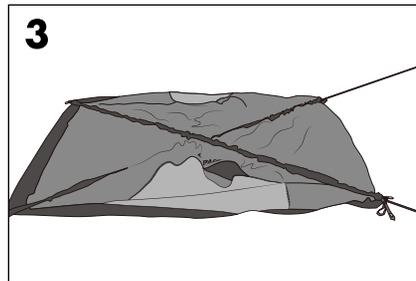


レインフライを本体に被せます。この際、レインフライの入口と本体の入口を合わせてください。次にレインフライ4隅に付いているバックルをテント4隅のバックルにセットします。バックルはねじれないようにセットしてください。セットした後、アジャスターテープでレインフライの張り具合を調整します。



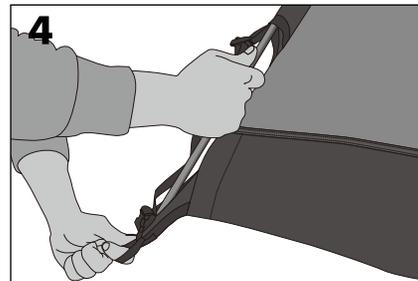
## 緊急用グロメットの使用方法

低温下での設営の際、テントパネルの生地が収縮してきつくなり、ボールエンドをボールソケットに差し込めない場合があります。その場合には付属している緊急用グロメットにボール末端を差し込んで設営してください。

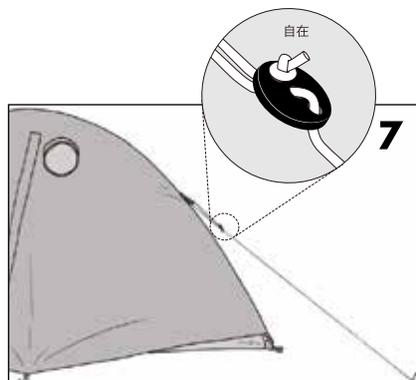


頂点ではボールが交差しますが、もし引っかかった場合は無理に差し込まないで、ボールスリーブ通りに交差させてください。(この際、交差する下側のボールスリーブからボールを通し始めるとスムーズです。ボールスリーブ末端は袋とじになっていますので一気に通します。

**!** 必ずボール先端がボールスリーブの末端まで行っているか確認してください。



2本目のボールが反対側のボール受けに到達したら**(途中で引っかかっていないか必ず確認してください)**さらに押し込み、湾曲させて手元のボールソケットにボール末端をセットしてください。



レインフライの各裾中間部にあるショックコードをペグで地面に固定します。その際、レインフライとテントの間の空間が保てるように、なるべく本体から離して固定してください。張り網は各コーナーからボールの対角線の延長線上、約70cm離れた付近にしっかりとペグで固定します。

## 専用オプション

### スノーフライ

ソロ用 ¥24,500+税

デュオ用 ¥26,500+税

冬季に使用する際、防風保温効果を高めるためにレインフライの代わりに使用します。通気性があるため結露や酸欠が最小限になります。



### アンダーグランドシート

ソロ用 ¥3,400+税

デュオ用 ¥4,800+税

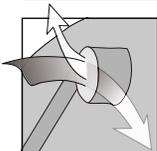
テントの下に敷く専用シートです。本体の汚れを防止し、耐久性、防水性が向上します。

# 注意事項



## 火気厳禁

テント室内でのコンロ、ランタン等の火器は絶対に使用しないでください。テント室内は限られた空間のため火器を使用すると、火災発生の恐れや一酸化炭素中毒の恐れもあり非常に危険です。やむを得ず使用する場合は、必ず入口、ベンチレーターを開けて常に換気してください。またテントの生地は可燃性素材ですから、火器はテントパネルから十分に遠ざけ火災に注意してください。



## 換気必要

テントパネルはテント室内のムレを防ぎ、換気を図るために通気性を優先しています。しかし、雨天時やテントパネル面が結露または低温化で氷結した時などは、通気性が悪くなります。テント室内ではベンチレーターや入口を開けるなどして、常に換気をしてください。



## 張り綱の取り扱い

このテントに付属している張り綱は外皮にポリエステル、中芯にダイニーマを使用しているため、軽量で強度(約100kgf)も保持しています。しかし、従来の張り綱より径が細いので、自在を急激にスライドさせますと手を火傷したり自在を破損させる原因となります。張り綱を張る際は岩角などに触れないように張ってください。摩擦により切断しますので十分注意してください。ペグなどを打てなくて岩石を利用する際は、直接張り綱を岩石に結ばずに別のロープ等を利用してください。



## レインフライ

レインフライは降雨や夜露からテント本体を守るためのアウターシートです。防水加工を施していますから、通気性はありません。また低温下では入口ファスナー凍結の恐れがありますので、冬期の使用には十分に注意してください。



## 破損時には(スペアポール、応急処置品の携行)

テントポールは悪天候や不測の事態などで折れることがあります。折損の際はショックコードを切断し、破損したポールをスペアポールに交換し応急処置してください。生地が破れた時には、ガムテープなどで両面から張り合わせて応急処置をしてください。山行日程に合わせて、スペアポール、予備の張り綱などを携行してください。



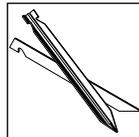
## 悪天候・強風時には

悪天候が予想される時には早急下山する事が安全登山の鉄則ですが、万が一悪天候にまわられた時には、各張り綱がしっかりと固定されているかを再点検してください。張り綱やショックコードがゆるんでレインフライとテント本体が接触すると換気機能が低下し、また漏水の原因ともなりますので十分注意してください。



## テントを乾かす時

グランドシート下側を乾かすために、ポールをセットした状態でテント本体を逆さまにしないでください。ポールスリーブやテントパネルが地面と擦れ生地の劣化を早め、またポール折損の原因ともなります。



## 購入後の付属品の確認

テントやパーツの製造、販売には十分注意していますが、ご購入後は必ず山行前に試し張りをしてください。その際、付属品の数、ポールサイズ、設営具などをご確認ください。また、テントの設営は繰り返し練習の上、実際の山行に備えてください。

	ペグ	張り綱	スペアポール
ソロ	8本	4本	1本
デュオ	8本	4本	1本



## 防水コーティングの劣化(加水分解)

グランドシートやレインフライの防水コーティングに使用しているポリウレタン樹脂は、ご使用にならなくても、徐々にポリウレタン樹脂が劣化してポロポロになったりベタ付きが発生します。これは、ポリウレタン樹脂が空気中の水分、気温(熱)等の影響で次第に劣化していく化学反応(加水分解)によるものです。

加水分解は、一般的に5~7年をめやすとして進行し、復元させることは不可能です。使用、保管方法によっては劣化が早まりますので、ご使用後はメンテナンスを行ない、直射日光を避け、高温、多湿にならない場所で保管し、時々広げて乾燥してください。



## 製造ナンバー

アフターサービスのため、製造ナンバー(テントバッグとテント室内に表示)により、ポールサイズ、パーツ類を管理しています。修理のご依頼、予備ポールやパーツのご購入の際は、必ず製造ナンバーを販売店にお知らせください。

## ご使用後のメンテナンス

- ご使用後は泥や汚れ等をよく落とし、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてから保管してください。汚れのひどい場合は、スポンジ等で水による手洗いをしてください。洗剤は使用しないでください。もし使用する場合には十分すすぎ、洗剤を完全に洗い流してください。
- 汚れたり濡れたまま保管すると、生地の劣化を早めるばかりか、カビや色落ちの原因となりますので十分注意してください。また定期的にフッ素系の撥水スプレーを塗布すると生地表面の撥水性が持続します。
- ファスナーの泥汚れはファスナー破損の原因となりますので、常にきれいにしてください。定期的にYKKファスナーメイト(シリコンスプレー等)を塗布すると、スライダの動きがスムーズになります。
- テントポールもよく汚れを落とし乾燥させます。ジョイント部には潤滑剤を薄く塗布してください。濡れたまま保管しますと、腐食し強度低下につながります。
- 生地の破れ、ファスナーの故障、ポールの折損などの修理は弊社にて承ります。その際、製造ナンバーを販売店または弊社にお知らせください。
- 次の山行に備え事前に異常や故障を発見するため、メンテナンスの際、テントポール、ファスナー部、張り綱などよく点検してください。